

広報 しんち

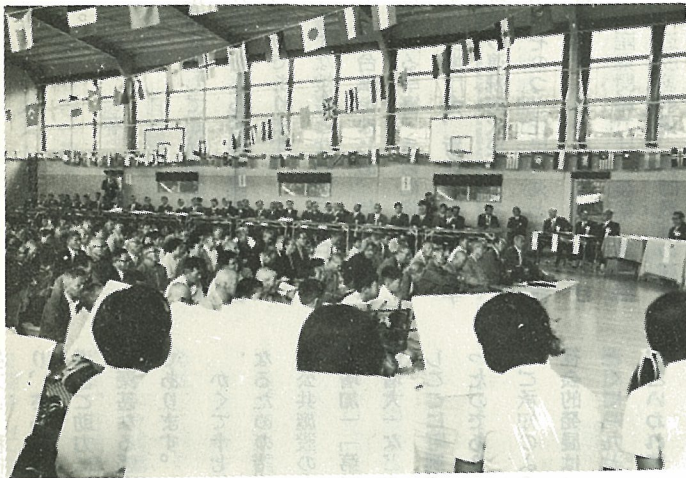
主役は町民ひとりびとりに

理想郷実現へ全力

町制施行記念式典は、八月十九日午前九時から、新地小学校屋内運動場で行ないました。

当日は、県知事木村守江氏、県議会議長鈴木正一氏など、各界の来賓約二百名の臨席のもとに町民約八百人が出席し、町の前途を祝福しました。

橋本町長は式辞で、「農工一体の振興をめざし、基盤産業としての農業の整備を行ない、商工業の伸展をはかってゆく。理想郷を実



現するには町民ひとりびとりの意欲がもっとも重要である」と強調しました。

県知事、県議会議長、県町村会長など、各氏の祝辞のあと、木村守江氏の「ソ連をめぐる」と題する記念講演が行なわれましたが

特別列車「新地町民号」で

ハワイアンセンターへ

町制施行を記念して、国鉄では特別列車「新地町民号」を運行することになりました。

ふるってご参加ください。

要項はつぎのとおりです。

▽新地町民号(急行電車 八幡編成)

- ・主催 新地町
- ・後援 新地 駒ヶ嶺旅行協会
- ・期日 十一月十日

この中でとくに知事は、外国にくらべ報恩感謝の思想が薄いようだから現代の生活は多くの人の努力によって築かれたものであることを深く考える必要があると、教育の重要性を強調しました。

あいにくの雨模様でしたが、小学生の鼓笛隊パレードが元氣よく行なわれ、赤白青のユニホームがはなやかなムードをいっぱいにくり広げました。

・募集人員 六百名

・行先 いわき市 ハワイアンセンター

・費用 千三百六十円

・目的 町制施行を記念し、町制懇談会をかね、町のビジョンを語り合い町民の融和をはかる。

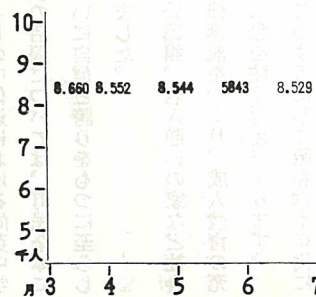
▽募集方法は、追って各部落の区長さんを通しておしらせいたします。

6号

46 / 9

8.1現在

▷戸数	1,837戸	出生	8
▷人口	4,095	死亡	13
	男 4,436		
	女 4,436		
	計 8,531人		
	転出	22	
	転入	29	



近づく

「農業振興地域」の線引き

農業振興地域の線引きは、十一月までに行うことになってい... 農業振興地域の問題は、農家にとって大きな問題です。そこで、これについても一度考えてみたいと思います。

なぜ必要か...

この制度は、昭和四十四年にできた農業振興地域の整備に関する法律によるもので、これをか... なたんにいますと、今後の農業



老人に思いやりを (敬老の日)

を振興する地域を、はっきり決めると同時に、この地域が、名実ともに近代的な農業を行なうために農地の基盤整備などを総合的にすすめるものとするのです。

これは最近の経済成長に伴って、工業開発や、住宅の進出などで良い農地が無秩序につぶされたりして、都市公害など、農業にとって好ましくない問題が増えてきています。これらに対するいわば農業振興のための「領土宣言」というべきものです。

振興地域の内容は

どんなものか...

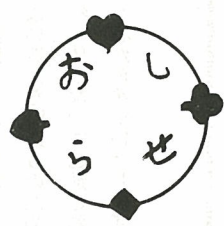
農業振興地域の中心、今後おおよそ十年以上にわたり農用地として利用する土地を定め、これをさらに用途区分をあきらかに

します。

この「農用地域」は、集团的農地、今後農用地として開発される予定の山林原野、溜池、防風林、農道などの用地となっており、この用途区分はつぎの五つに分けられます。

- 田、畑、樹園地、採草放牧地、混牧林地

また、農業振興地域は「農用地域」と「その他の区域」に区分されます。



相続と税金 (1)

相続とは...

人が死亡すると、その人が持っていた財産や権利義務を相続人が引き継ぎます。これを相続といいます。

相続は、死亡した人が持っていたすべてのものを引き継ぎますが、税理士や弁護士資格のように、引き継がれないものもあります。相続人は、ふつう死亡した人の配偶者と子です。子がいないときは配偶者と直系尊属(両親)、子も

農用地域では、農地の農業外への転用はできませんし、定められた田畑などの用途区分も守らなければなりません。

すべては農家の意志により決定

直系尊属もいないときは、配偶者と兄弟姉妹が相続人となります。また、相続開始前に子が死亡して

いて孫がいるときは、孫は子と同じ立場で相続人となります。遺産の分けかたは相続人の間で自由にきめてよいことになっていますが民法では法定相続分として次のような割合を定めています

- (一) 相続人が配偶者と子の場合 配偶者 三分の一、子 三分の二
- (二) 相続人が配偶者と直系尊属の場合、配偶者 二分の一、直系尊属 二分の一
- (三) 相続人が配偶者と兄弟姉妹の場合、配偶者 三分の二、兄弟姉妹 三分の一

なお、同順位の人が数人いるときは、前記の割合をさらに均等に分けることになっています。

相続税の計算...

相続と遺贈(遺言による贈与) 相続税は、相続したとき

農用地域は、あくまで農家のみなさんの考え方を基本にして決められるものです。

これは、今後の農業の姿をどのようにするかという、もっとも大事な問題ですので、じゅぶん考えていただきたいと思ひます。

相続税がかかりますが、この相続税の計算はつぎのように行います。

一、遺産総額から基礎控除額と遺産にかかる配偶者控除額を差し引いて、課税される遺産総額を計算します。

基礎控除額は、四百万円と八十万円に相続人の数をかけた金額です。

遺産にかかる配偶者控除額は、相続人のなかに、被相続人(死亡した人)との婚姻期間が十年をこえる配偶者がある場合に受けられるものです。

控除額は、婚姻期間のうち十年をこえる部分の年数に四十万円をかけた金額ですが、四百万円が最高です。

したがって、遺産総額が基礎控除額と遺産にかかる配偶者控除額の合計額を下回るときは、相続税はかかりません。